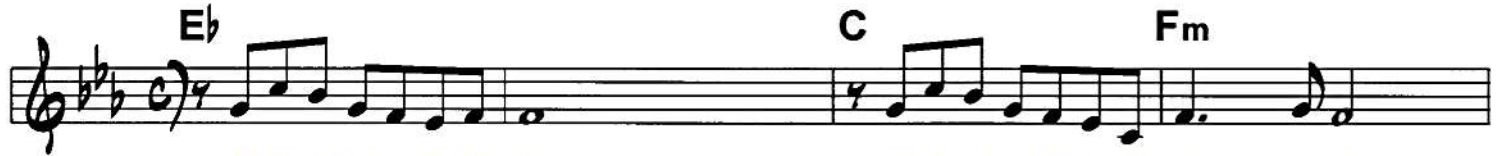


# 白い想い出

山崎唯



ゆきがふってきた  
ゆきがとけてきた

ほんのすこしだけ 一ど  
ほんのすこしだけ 一ど



わたしのむねの な かに  
わたしのむねの な かに

つもりそ—うな ゆきだった  
のこりそ—うな ゆきだった



しあわせ を なくした  
はいいろ の く—も が

くらい ころの な 一かに  
わたしにおしえて くれた



つめたく さびしい  
あかるい ひざし が

しろいて が しのびよる  
すぐそこ に きていると